

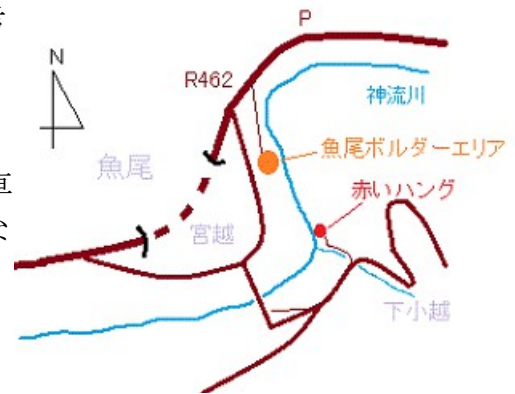
## 神流川 魚尾(よのお)ボルダー

2017.6.1 rctK

神流川流域には難読地名が多い。この「魚尾」も、どう考えたら「よのお」と読めるのか、悩んでしまうところである。

わざわざ登りに行くほどのボルダーではないのですが、興味があったら通りがかりにでも寄ってみてください。

アクセスは車利用が良い。国道462号を走っていると、車道から岩が見えるので、注意していけば通り過ぎることはないと思われる。



### 《魚尾ボルダーエリア》

上流側より見るエリア。

各ボルダーのうち、A・B・C岩を紹介する。

車は、国道から草の茂った河原への道を下ると、エリアの直ぐ横にスペースがあるが、草の刈られていないこともあるので、少し下流側の国道462号沿いにスペースがあるので、そこに置いた方が良い。



もしトライする場合は、エリアの上に旧道があり、民家もあるので、大声は厳に慎みたい。

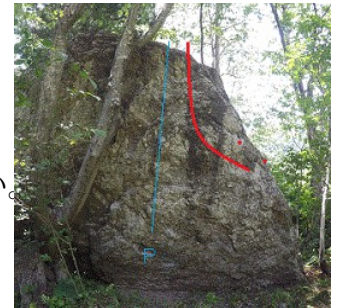
### ●A岩

茂った木の中の苔だらけのボルダーだったが、前傾壁が面白そうなので掃除をしてトライしてみた。

右ラインは左手は穴状のホールド。右手はカンテからスタート。左手が届かないときは下に石を置いて踏み台にした方が良い。

左ラインはSDトライの想定だが、スタンディングポジションでも登れない。ホールドの向きが悪く、汗ばむ手には厳しい。

ランディングが少し悪いのでマットを使用した方が無難。

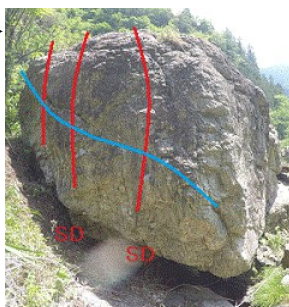


### ●B岩

左:下流側 中央:民家側 右:上流側

このボルダーは、小沢の両岸に渡されたトンネル状のチャートの岩で、難しくはないが、いろいろと限定すれば、今後面白い課題ができるかもしれない。

上流側には太い流木があるので注意が必要。下流側は以前に比べ取り付きが砂で埋まってしまい、少し面白味がなくなってしまった。

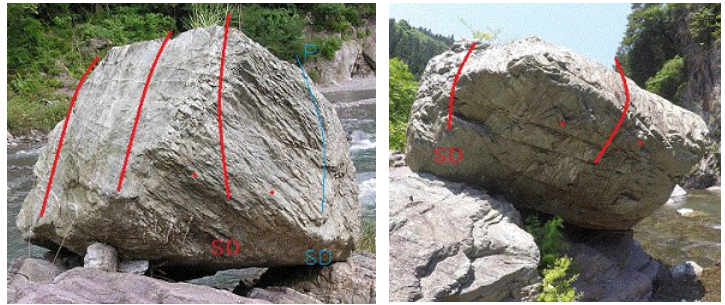


## ●C岩

このボルダーは、岩の台に乗ったきれいなボルダーで、上流側のハングは少し増水すると取り付けなくなりそうである。

岩質は、長瀬と同じ緑色片岩のような感じであるので、ホールドの欠損には注意したい。

左:下流側 右:上流側



## 《その他》

### ●下小越ボルダー(赤いハング)

旧道から下小越側に渡ると水場と駐車スペースがあり、夏は木陰で涼しくのんびりするにはちょうど良いところである。

赤いチャートのボルダーは駐車スペースから少し下小越側に進むと小沢があるので橋の手前を沢に下降し河原に出る。

以前このボルダーは、ハング部分がルーフ状であったが、下流側の土砂が流されてしまい、現在は傾いて前傾壁になっている。以前はSDでルーフを越す課題があったが、今はホールドの位置が高くなってしまい、SDでは非常に厳しくなってしまった。下地がもっと良ければ、左側のSD課題は面白い課題になりそうである。